

子子発0126第1号

2018年(平成30年)1月26日

児童福祉週間協力団体 各位

厚生労働省子ども家庭局子育て支援課長



2018年(平成30年)度「児童福祉週間」標語募集の結果について(報告)

児童福祉行政の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、2018年(平成30年)度「児童福祉週間」の標語の募集に当たりましては、種々ご協力をいただき誠にありがとうございました。

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業及び行事を行っています。

2018年(平成30年)度においても、児童福祉の理念を広く啓発する標語を募集しましたところ、全国から9,720作品の応募があり、有識者等で構成される標語選定委員会により選考した結果、別紙のとおり決定いたしました。

今回選定された標語につきましては、2018年(平成30年)度「児童福祉週間」(5月5日～11日)の象徴として、子どもたちが中心となる中央及び全国各地で実施される各種事業・行事において幅広く活用することとしております

貴団体におかれましても、広報誌や機関誌への掲載等により標語の周知等格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【連絡・照会先】

厚生労働省子ども家庭局子育て支援課

(阿部・平川)

TEL 03-5253-1111 (内線4959・4962)

直通 03-3595-2598



## 2018年(平成30年)度「児童福祉週間」の標語について

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業及び行事を行っています。

児童福祉の理念を広く啓発する標語を全国から募集し、有識者等で構成される標語選定委員会による選考の結果、次の作品を2018年(平成30年)度「児童福祉週間」の標語と決定しました。

## 最優秀作品(1作品)

## あと一步 力になるよ その思い

(伊藤 里空乃さん 8歳 千葉県)

## &lt;入選作品 (10 作品) &gt;

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| ・探そうよ 未来に届く できること      | (深川 瑚夏さん 14歳 愛媛県)       |
| ・ひとつでも 君の得意は 光る星       | (松永 大輔さん 36歳 長崎県)       |
| ・がんばった 時間はすべて 君の道      | (植田 大翔さん 5歳 香川県)        |
| ・君の色 みんなで合わせ にじになる     | (佐藤 琉菜さん 12歳 山梨県)       |
| ・あなたがかけた優しい言葉 未来を救う    | 小さな一步 (中見 遥菜さん 13歳 福岡県) |
| ・周り見て 気付いてあげよう 心の声     | (吉野 温人さん 10歳 愛知県)       |
| ・支えよう ひとりひとりの 可能性      | (我妻 隼さん 15歳 宮城県)        |
| ・毎日を 君と一緒に 笑いたい        | (飯田 愛さん 17歳 山口県)        |
| ・見つけよう 自分が輝く そのすがた     | (大塚 陽平さん 12歳 愛知県)       |
| ・ギュウしてね!げんきいっぱい できるんだよ | (山本 敢介さん 6歳 香川県)        |

【参考：平成30年度「児童福祉週間」標語募集の概要】

1. 主催者

厚生労働省、(公財)児童育成協会、(社福)全国社会福祉協議会、

2. 応募期間

2017年(平成29年)年9月1日～10月20日(50日間)

3. 応募総数

全国から9,720作品の応募がありました。

4. 標語選定委員会委員

川 鍋 慎 一	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課長
佐 甲 学	(社福)全国社会福祉協議会 児童福祉部長
藤 田 興 彦	(公財)児童育成協会 理事長
宮 島 香 澄	日本テレビ報道局解説委員
望 月 重 信	明治学院大学名誉教授
ヨシタケシンスケ	絵本作家

(五十音順 敬称略)

5. 表彰

最優秀作品受賞者については、2018年(平成30年)度児童福祉週間の関連行事の中で厚生労働大臣表彰を行う予定です(授賞式の日程等詳細については現在調整中)。